

きたひろしま 議会だより



山県防犯少年野球・ソフトボール大会

主な内容

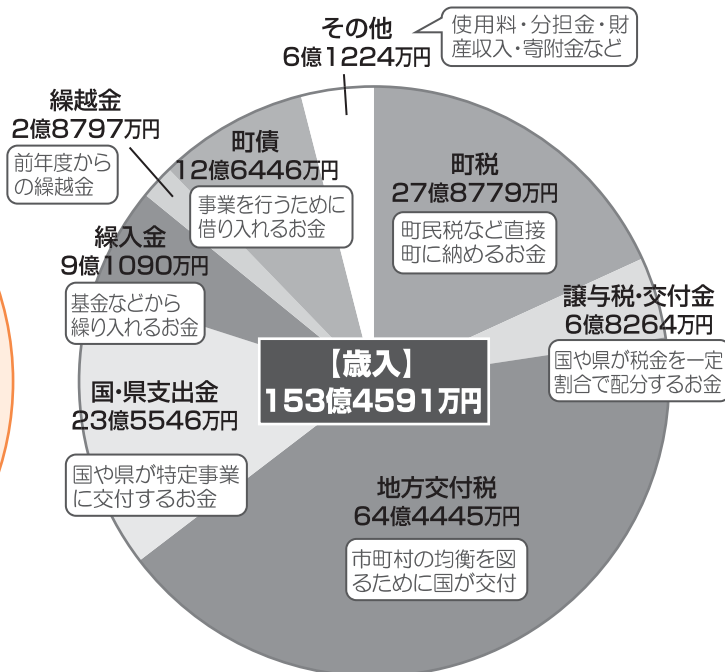
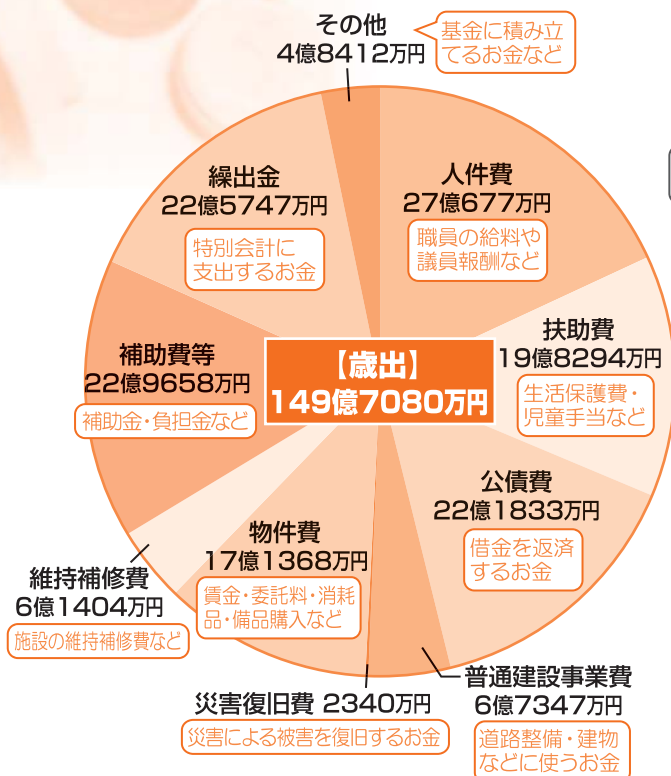
平成28年度歳入歳出決算 …… 2~3
 補正予算・視察報告 …… 4
 議会日程・議長日程 …… 5

議案に対する質疑・討論 …… 6~7
 一般質問 町政をただす …… 8~15
 表紙の説明 あとがき …… 16

vol.
50
 2017.11.1

平成28年度一般会計決算

9月定例会（会期：9月8日～27日）の主な議案に前年度の決算があります。私たちのお金がどのように使われているか、平成27年度と比較してご覧ください。



歳出（使い道）（前年との比較）

項目	27年度	28年度	差額
人件費	27億8651万円	27億0677万円	-7974万円
補助費	18億4093万円	19億8294万円	1億4201万円
公債費	23億9160万円	22億1833万円	-1億7327万円
普通建設事業費	26億0697万円	6億7347万円	-19億3350万円
災害復旧費	916万円	2340万円	1424万円
物件費	16億5716万円	17億1368万円	5652万円
維持補修費	4億4931万円	6億1404万円	1億6473万円
補助費等	22億0355万円	22億9658万円	9303万円
繰出金	23億3867万円	22億5747万円	-8120万円
その他	4億5833万円	4億8412万円	2579万円
計	167億4219万円	149億7080万円	-17億7139万円

歳入（財源）（前年との比較）

項目	27年度	28年度	差額
町税	27億3067万円	27億8779万円	5712万円
譲与税・交付金	7億5371万円	6億8264万円	-7107万円
地方交付税	67億8643万円	64億4445万円	-3億4198万円
国・県支出金	28億4989万円	23億5546万円	-4億9443万円
繰入金	2億4349万円	9億1090万円	6億6741万円
繰越金	6億3208万円	2億8797万円	-3億4411万円
町債	24億6630万円	12億6446万円	-12億0184万円
その他	5億6759万円	6億1224万円	4465万円
計	170億3016万円	153億4591万円	-16億8425万円

豊平病院・芸北診療所関係にあつては、施設の老朽化に伴う補修などの維持管理費や、医師・看護師の配置数の試算を行い、抜本的な見直しを含めた中長期計画が必要である。

公共施設の指定管理については可能な限り地元移管することを考えることも必要と思われる。

各種団体等への補助金及び交付金は、その効果が出ているのか追加評価する必要がある。また、全ての事業について、事業評価等マネジメント・サイクルの活用を望む。

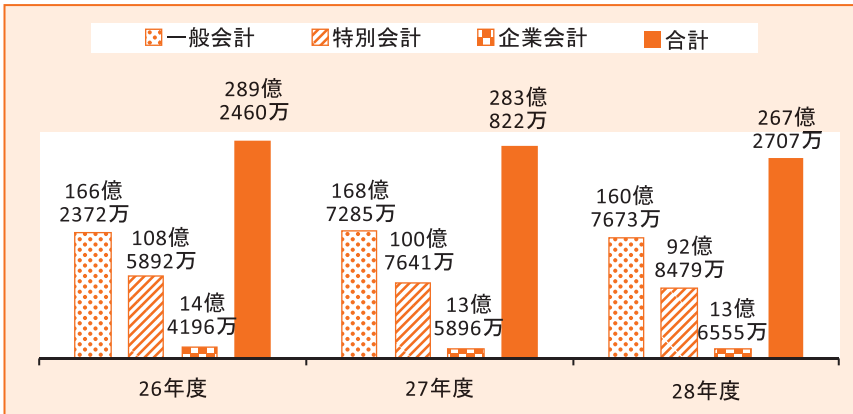
監査委員の審査意見

代表監査委員 山根千昭
監査委員 森脇誠悟

私たちの

借金と貯金はいくらあるの？

●借金(町債)

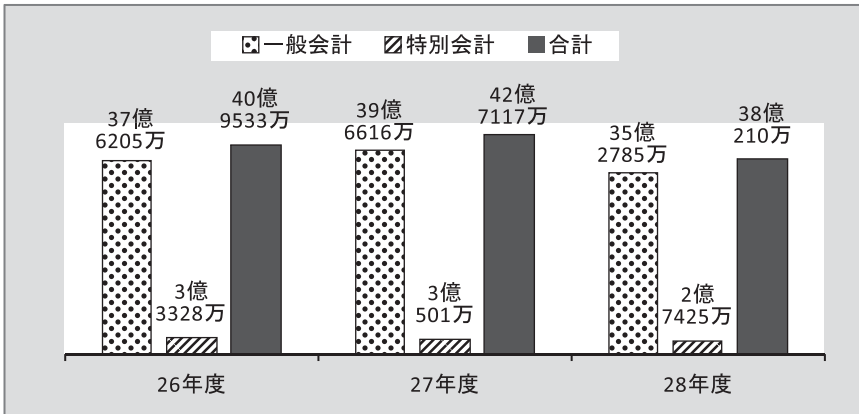


○町債(借金)について
26年度(約289億円)
↓
27年度(約283億円)
↓
28年度(約267億円)
と、年々減少している。

○一人当たりの町債(借金)は？
上記の金額を人口で除すると、
1人当たり139万8664円。
(前年より6万2858円の減額)

特別会計・・・下水道事業、農業集落排水事業、簡易水道事業、電気事業、芸北診療所、情報基盤整備事業
企業会計・・・水道事業会計、豊平病院事業会計

●貯金(基金)



○基金(貯金)について
26年度(約41億円)
↓
27年度(約43億円)
↓
28年度(約38億円)
と、27年度より約5億円減少した。

○一人当たりの基金(貯金)は？
上記の金額を人口で除すると、
1人当たり19万8834円。
(前年より2万1773円の減額)

特別会計・・・国民健康保険、介護保険、簡易水道、電気事業、情報基盤、芸北財産区

北広島町の財政状況は？

項目	27年度	28年度	基準等
実質赤字比率	なし	なし	13.38%を超えると健全化の対象となる
連結実質赤字比率	なし	なし	18.38%を超えると健全化の対象となる
財政力指数	0.35	0.35	1に近いほど財政に余裕がある
経常収支比率	89.3%	90.9%	低いほど財政運営に弾力性がある
実質公債費比率	16.7%	16.3%	25%を超えると早期健全化の対象となる
将来負担比率	88.1%	89.5%	350%を超えると早期健全化の対象となる

北広島町の歳入状況は？

区分	27年度	28年度	
自主財源	町税や使用料、財産収入や繰入金など	41億7382万	45億9891万
		24.5%	29.9%
依存財源	地方交付税や各種交付金、国庫支出金など	128億5634万	107億4701万
		75.5%	70.1%

決算審査特別委員会報告

委員長 大林正行

審査過程で出された意見、要望等を今後の事業執行及び平成30年度予算編成の中に反映されるよう強く要望する。

平成28年度決算健全化判断比率の実質公債費比率は、昨年と対比すると改善しているが、将来負担比率は、前年度からは悪化している。一般財源の減少に伴う財源不足により、全体的に財政が厳しい状況にある。

歳入関係では各会計とも不納欠損額及び収入未済額に対して質疑が多く出ている。債権管理については、さらなるきめ細やかな債権回収の取り組みを求めらる。歳出関係では、町から各種団体への補助金の見直しなどによる歳出抑制が必要である。

限られた財源で最大の効果を上げられるよう、町長、管理職及び職員個々がより厳しさを持って事務執行にあたられるよう求める。

補正予算

●平成29年度7月補正予算(専決)

3億1000万円の補正で149億8000万円に

内訳としては、7月豪雨災害に対する地元施工補助金や、農道・林道・町道・河川災害の査定設計委託料として2億9589万8000円。他には、芸北小学校の自転車全国大会派遣費用補助や予備費など。

●平成29年度9月補正予算

一般会計：18億2000万円の補正で総額168億円

内 容	金 額
公共土木施設災害復旧費	8億
農林水産施設災害復旧費	5億9500万
財政調整基金費	1億6062万
豊平病院会計補助金	1億1350万
河川改良事業費	756万
担い手育成総合支援事業費	725万
町図書館大規模改修費	529万
オリンピック誘致活動事業費	230万
(※)その他	1億2848万

(※)その他…地域づくり交付金事業費や防災事業費、コミュニティホーム整備補助金、町道除雪費など

災害復旧費 14億2000万円

7月の豪雨災害に対する復旧事業費。7月専決予算と合わせ、17億2800万円が予算措置された。査定設計委託費や工事請負費などにあてられる。10月末現在、国の災害査定は継続中。



豊平病院会計補助金 1億1350万円

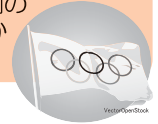
心身ともに誰もが安心して暮らせる町づくりの一つとして、豊平病院の暖房空調整備改修工事費や、月遅れで入る診療報酬の補填等を補正。

図書館改修費 529万円

北広島図書館の雨漏りなどの老朽化対策と、郷土資料室などを美術ギャラリーへ改修するための設計委託料。

オリンピック事前合宿誘致活動 230万円

基本協定書締結のための予算。ドミニカ共和国の陸上連盟、柔道連盟関係者の招聘と交流に掛かる経費(国からの経費措置あり)



特別会計：8700万円の補正で総額75億6700万円



豊平
まぎーず どんぐりっこ
Maza〜ズの団栗子
昼食タイムです。地元の食材を使い、地元の皆さんに作って頂いた美味しい料理を頂きました。



千代田
千代田運動公園
利用者の人数、プールや体育館を使った取り組みについて教えてもらいました。



大朝
北広島町図書館
今後大規模改修をする方針の北広島町図書館。どのような美術ギャラリーになるのでしょうか。



芸北
障害者支援センターさあくる
作業の様子を拝見しました。皆さんが真剣に取り組まれている姿に議員の気持ちも引き締まる思いでした。

視察研修報告

限られた時間の中での視察でしたが、10力所の施設を訪問し議員研修に努めました。ご協力頂きました皆様方ありがとうございました。

9月22日(金)に北広島町議会で町内の視察研修に行きました。

平成29年第3回北広島町議会 定例会 日程表 (会期:9月8日~27日)

- | | |
|---|---|
| <p>8日 ⑤ 本会議 (開会 提出議案説明)
全員協議会 (本会議終了後)
常任委員会 (全協終了後)</p> <p>11日 ⑥ 本会議 (一般質問)
議会運営委員会</p> <p>12日 ⑦ 本会議 (一般質問)
議会運営委員会</p> <p>13日 ⑧ 本会議 (一般質問)
総務常任委員会
産業建設常任委員会</p> <p>14日 ⑨ 決算審査特別委員会 (説明)</p> <p>15日 ⑩ 常任委員会</p> | <p>19日 ⑪ 決算審査特別委員会 (審議)</p> <p>20日 ⑫ 決算審査特別委員会 (審議・採決)</p> <p>21日 ⑬ 全員協議会
常任委員会</p> <p>22日 ⑭ 町内視察
総務常任委員会</p> <p>25日 ⑮ 合同常任委員会</p> <p>26日 ⑯ 休会 (事務整理日)</p> <p>27日 ⑰ 本会議 (閉会 審議・採決)
総務常任委員会</p> |
|---|---|

議長日程 (7月~9月)

7月	8月	9月
1 「少年の主張」中学校話し方大会2017北広島町大会	6 ドミニカ共和国エクトル・ドミンゲス駐日大使歓迎レセプション	2 広島県消防ポンプ操法大会
3 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会ドミニカ共和国チーム事前合宿等誘致(~10日)	11 くらさこ夏まつり	3 第34回八幡高原聖湖マラソン大会
18 北広島町防災会議	17 広島県町議会議員研修会	3 「文化講演会」並びに「自由民主党広島政経文化懇談会」
19 広島県町議会議長会会計監査	19 新庄学園同窓会千代田支部総会	4 平口ひろし君を励ます会
22 第29回芸北神楽競演大会	20 第63回吉川公墓前祭	8 定例会(~27日)
25 国道186号整備促進協議会	21 広島県消防ポンプ操法大会出場激励会	
26 平成29年度適正処理推進大会	24 日本体育施設協会功労賞・スポーツ振興賞受賞祝賀会	
29 八重管絃祭	25 広島県市町トップセミナー	
30 防府市長松浦正人君 全国市長会会長就任祝賀・激励会	26 第32回県庁やまがた会	
31 ゆめづくり「夢創造」フォーラム Part26	27 第13回北広島町民ゴルフ大会	
	29 平成29年度安芸吉川会総会	

賛成・反対一覧表

討論① 平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定について

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

反対討論 美濃孝二 税金が有効に活用されていない

①住宅新築資金貸付金。約4000万円もの返済滞納があるのに、有効な手立てもないため「議会と解決にあたろう」と提案したが「協議する予定はない」との答弁。

②漏えい事件や民間の負担増となっているマイナンバー制度を無批判に利用拡大している。

③解放団体補助金。必要なら一般行政で行えばよく即刻廃止を。

④温水プール。年間3800万円も指定管理料を出しているのに、利用者は減り、健康づくりの水中ウォーキングにはのべ84人しか利用しておらず、センタープールとして機能していない。

討論② 平成28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

反対討論 美濃孝二 資格証を発行し続けている

国保税の滞納者は「収入が少なく払いたくても払えない方が多い」にもか

かわらず、資格証を滞納者の4分の1の世帯に発行。社会的弱者を医療から

排除しているが見直そうとしない。

討論③ 平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

反対討論 美濃孝二 75歳以上を問答無用に組み入れている

一人平均1,262円引き上げ年67,165円と高い保険料に値上げした決算。後期高齢者の人口と医療給付費が増加す

ればするほど保険料の値上げに直結するしくみとなっており、75歳以上の高齢者を問答無用に組み入れ、上がり続

ける医療費を保険料で補う制度であり一刻も早く廃止すべき。

討論④ 北広島町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決

反対討論 美濃孝二 国を除いてメリットはない

行政の事務量が増え、システム改修費用がかかり、漏えいの危険がたつきまわっている。住民にとっては、

通知カードや個人カードを持ち歩かなくてはならず、紛失のための再発行件数も増えている。国を除いてメリット

はほとんどなく、制度自体をそっくり中止すべきである。

討論⑤ 平成29年度一般会計補正予算(第3号)

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

反対討論 美濃孝二 町民の要望にそっていない

①北広島町図書館大規模改修及び美術館ギャラリー実施設計のための予算。屋根の雨漏り対策や空調機器の更新、トイレの洋式化には賛成だが、美術館ギャラリー整備は住民から要望があるか

どうかも明確でなく、整備工事の予算もわからない。

②オリンピック・ドミニカ共和国選手団事前合宿誘致活動のための補正予算。今後の予算も、職員増員の経費も

わからない。お金があるなら災害復旧に町が全力で支援することが町民の切実な願いである。

不一致① 陳情第26号 「核兵器禁止条約」に署名・調印を求める意見書の提出について

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	可決

不一致② 日本政府に「核兵器禁止条約」への署名を求める意見書の提出について(発議)

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	○	●	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	可決

平成29年 第4回臨時会 および 9月定例会 議案審査の結果

審議日程	議案・提案・発議名	全員一致	不一致	結果	質疑討論
7月20日 (臨時会)	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度北広島町豊平病院事業会計補正予算(第1号))	○		可決	
	調停に応じることについて(芸北国際スキー場の事故に関する調停)	○		可決	
	財産の取得について(雄鹿原・八幡診療所電子カルテシステム)	○		可決	
	財産の取得について(大朝・新庄浄化センター移動脱水車)	○		可決	
	財産の取得について(大朝支所除雪ドーザ)	○		可決	
9月8日 (定例会)	財産の取得について(小型動力ポンプ付四輪駆動消防車(シングルキャビン))	○		可決	
	財産の取得について(小型動力ポンプ付四輪駆動消防車(ダブルキャビン))	○		可決	
9月27日 (定例会)	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度北広島町一般会計補正予算(第2号))	○		可決	
	一般会計歳入歳出決算の認定について		●	可決	討論①
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		●	可決	討論②
	下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○		可決	
	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○		可決	
	介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○		可決	
	簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○		可決	
	電気事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○		可決	
	芸北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○		可決	
	診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	○		可決	
	情報基盤整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○		可決	
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		●	可決	討論③
	水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○		可決	
	豊平病院事業会計決算の認定について	○		可決	
	北広島町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例		●	可決	討論④
	北広島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○		可決	
	財産の無償譲渡について	○		可決	
	一般会計補正予算(第3号)		●	可決	討論⑤
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○		可決	
	下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○		可決	
農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○		可決		
介護保険特別会計補正予算(第2号)	○		可決		
電気事業特別会計補正予算(第2号)	○		可決		
診療所特別会計補正予算(第1号)	○		可決		
情報基盤整備事業特別会計補正予算(第2号)	○		可決		
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○		可決		
水道事業会計補正予算(第1号)	○		可決		
豊平病院事業会計補正予算(第2号)	○		可決		

審議日程	請願・陳情	請願陳情者名	全員一致	不一致	結果	不一致 質疑討論
9月27日 (定例会)	陳情第24号 平成29年度北広島町行政施策に対する要望書	北広島町商工会建設業部会 会長 隅田 英治	○		採択	
	陳情第26号 「核兵器禁止条約」に署名・調印を求める意見書の提出について	原水爆禁止広島県協議会代表 理事 澤田 カヨ子 ほか3名		●	採択	不一致①
	発議	提出者	全員一致	不一致	結果	不一致 質疑討論
	北広島町議会議員貸与品貸与規則	北広島町議会議員 中田 節雄 賛成者 ほか4名	○		可決	
	米朝軍事衝突を回避するために日本政府として国際社会の主導的役割を果たすことを求める意見書の提出について	北広島町議会議員 湊 俊文 賛成者 ほか3名	○		可決	
	農業者戸別所得補償の復活を求める意見書の提出について	北広島町議会議員 美濃 孝二 賛成者 ほか4名	○		可決	
	日本政府に「核兵器禁止条約」への署名を求める意見書の提出について	北広島町議会議員 美濃 孝二 賛成者 ほか1名		●	可決	不一致②

一般質問

14議員が町政をたずねる

一般質問の順番と質問項目

質問時間30分、質問回数は制限なし。

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
8	亀岡純一	①人口減少克服への取り組みについて(その2) ②トンネルの安全確保について	12	室坂光治	北広島町産業フェア2017開催について問う
9	敷本弘美	防災・減災の施策を問う	12	服部泰征	①過疎地こそ必要な情報通信技術。将来を見据えた計画を ②依然として高い求人倍率。官民一体となり解決しよう
9	中田節雄	公共用地の無断使用への対応について問う	13	伊藤淳	①町外に向けてのプロモーション活動について問う ②大朝地域の美術館構想について問う ③行政職員の専門性・得意分野の現状と開発について問う
10	湊俊文	①危機管理と7.5豪雨災害について ②東京オリンピックのドミニカ共和国事前合宿と千代田運動公園多目的広場の用途変更について	13	真倉和之	①高校を変える まちが変わる 公営塾の開設を聞く ②まちづくり基本条例とまちづくり拠点整備及び町公民館の現状と課題について問う
10	大林正行	公共施設の総合管理計画と千代田中央公民館の建て替えを問う	14	美濃孝二	①就学援助制度の入学準備金を入学前に支給を ②国民健康保険の県単位化による保険料の第3回試算結果は ③県の水道広域連携と北広島町の水道問題の今後は
11	山形しのぶ	①第2子の保育料を第1子卒園後も半額のままに ②北広島町立新庄小学校プールの修繕を	14	浜田芳晴	①次世代を考える パート19 ②次世代を考える パート20
11	梅尾泰文	①年金を受け取れる人が増えます ②荒地にストップをかけよう ③空き家活用と危険家屋の撤去は	15	宮本裕之	①有毒生物の周知と対処の徹底を ②「地酒で乾杯条例」を地域経済に活かす努力を ③集落営農の課題と展望は

亀岡純一議員

人口減少克服への取り組みを問う(その2)

地域に合った取り組み、生活の基盤整備をしながら



他の自治体の取り組みも参考にしながら企画課で政策立案している。定住については個々の施策で成果が出るものではなく、総合的に地域に合った取り組みが必要。全体で生活の基盤整備をしながら定住を促進していく。

問 全国の「社会増」達成の事例を分析・研究して町独自の政策発案部署を開設してはどうか。

答 企画課長
他の自治体の取り組みも参考にしながら企画課で政策立案している。定住については個々の施策で成果が出るものではなく、総合的に地域に合った取り組みが必要。全体で生活の基盤整備をしながら定住を促進していく。

千代田は安定して増加、逆に芸北は減少、豊平・大朝は年度によってバラツキがある。空き家バンクは、効果があったと考えられる。

問 人口減少克服のために、実効性ある様々な手を打っていくべきだ。この5年間の本町の社会動態を旧4町別に分析すると何がわかるか。

答 企画課長
千代田は安定して増加、逆に芸北は減少、豊平・大朝は年度によってバラツキがある。空き家バンクは、効果があったと考えられる。

町内で起業することは地域活性化を進める上で重要。まずは、昨年策定した北広島町中小企業・小規模企業振興基本条例をよりどころとして効果的な起業の支援施策を積極的に進めていく。

問 「起業家支援条例」を策定して雇用の創出につなげることを提案する町の所見は。

答 商工観光課長
町内で起業することは地域活性化を進める上で重要。まずは、昨年策定した北広島町中小企業・小規模企業振興基本条例をよりどころとして効果的な起業の支援施策を積極的に進めていく。

様々な支援制度がある。町では認定連携創業支援事業者と連携して創業支援制度のワンストップ窓口のネットワーク体制を整備して適切な支援をしている。現在、地方創生推進交付金を活用したクラウドファンディングシステムの構築をしている。

問 地元雇用を創り出す活動に対する国からの支援策は。

答 商工観光課長
様々な支援制度がある。町では認定連携創業支援事業者と連携して創業支援制度のワンストップ窓口のネットワーク体制を整備して適切な支援をしている。現在、地方創生推進交付金を活用したクラウドファンディングシステムの構築をしている。

数本弘美議員

防災・減災の施策を問う

住民参加型の避難訓練を今後計画



問 「犠牲者ゼロ」「逃げ遅れゼロ」「被害の最小化」の実現に向け時系列に沿ったの防災計画は。

答 危機管理監

職員初動マニュアルを作成し、状況に応じ段階的に体制をとることになっている。

問 防災意識を高めるための住民参加型避難訓練を取り入れるべきでは。

答 危機管理監

町が主体となった住民参加型の訓練を今後計画していきたい。

問 災害時の避難所は適切か。

答 危機管理監

避難所の見直しは災害時の状況等により、毎年少しずつ見直しをしている。今回の災害の状況を地域の人、区長、職員に意見を聞きながら避難所の指定を見直していきたいと考える。

問 一人暮らし・要支援者の避難対応は。

答 危機管理監

災害対策基本法に基づき避難行動、要支援者名簿を備えている。

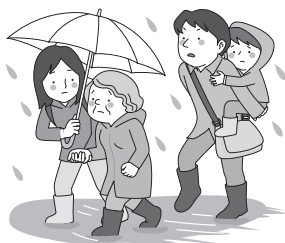
問 避難所での食料・飲料水・寒暖対策はあるか。

答 危機管理監

避難が長時間になった場合手配する。今回の補正予算で毛布を購入予定。防災・減災の取り組みについて町長の考えは。

答 町長

平成26年、本庁に災害対策本部を設置し訓練を行なった。今後、地域ごとに順次実施し、事後検証を行い、防災・減災を図っていく。実際どうしたら良いか明確になるよう工夫していきたい。



中田節雄議員

公共用地の無断使用について問う

責任者に連絡し撤去頂いている



問 公共用地への政党の立て看板が多く見受けられる。その中には、視界が悪く交通に支障をきたしているものもある。これらの状況を把握しているのか。

答 建設課長

今年度当初から多く見受けられる。無断占有であり、数は把握していない。

問 町内各地から職員が通勤しており、職員からの情報提供はないのか。

答 建設課長

道路の維持面では協力頂いているが、看板情報提供はなかった。建設課職員から町道敷地の立て看板の情報提供があり、撤去依頼をしている。

問 占用許可を出したところはあるのか。

答 建設課長

占用許可はしていない。撤去の申し入れはど

のようにしているのか。

答 建設課長

政党の看板には、掲示責任者名があり、そこに連絡して撤去頂いている。

問 違法に設置されている看板について罰則はあるのか。

答 建設課長

無断専用なので、罰則規定はあると思うが、研究はしていない。

問 今後、罰則規定を適用する考えはあるのか。

答 建設課長

町道であれば、道路法上の措置に従う。

問 道路の改良・占用について知らない方も多いため、周知するべきではないか。

答 建設課長

中国電力とNTTからの電柱設置の申請が多く、町民からの申請は少ないため、広報は必要ないと考えている。



湊 俊文議員

豪雨等の災害時の危機管理について

町と自主防災組織との連携のルールづくりを検討する

問 町長不在の災害時における危機管理について、今回の海外出張時に避難勧告の第一報はいつ受け取られ、どのように指示されたか。今回の豪雨災害は副町長が対策本部のトップとして陣頭指揮、今後の課題である自主防災組織との情報や行動の連携を体系的に確立する考えはあるか。

答 町長

避難勧告発令時には航空機上であった。ドミニカ共和国日本大使館へ向かう途中（日本時間7月5日4時頃）報告を受け、職員全員で避難者や災害対応に最善を尽くすよう指示した。

答 副町長

いつでも災害は起きることを念頭に町民の安心安全のために平時からの備えが大切である。

答 危機管理監

避難勧告等を発した時に避難所開設や避難誘導住民の安否や居場所、避難者の名前、被害状況などの確認、また連携時の

役割、ルールなどを整理し自主防災組織へ町としての取り決めを示したい。Jアラートテスト訓練異常なし。

問 ドミニカ共和国事前合宿と多目的広場の使用用途変更

問 東京五輪のドミニカ共和国事前合宿の今後のスケジュールと町民への周知と歓迎ムードの醸成について問う。

答 生涯学習課長

今後事前合宿に向けた基本協定書締結の実現を目指す。また町民への周知については、きたひろネットや広報誌等を活用してお知らせする。歓迎ムードの醸成は様々な交流事業を実施しながら機運醸成を図る。

問 使用頻度の低い千代田運動公園の陸上トラックを廃止、全面芝生に改修しサッカー、グラウンドゴルフ等使用頻度の高い多目的広場への用途変更について

答 生涯学習課長

現在のところ考えはない。

大林正行議員

公共施設の統廃合計画の基本的考え方は

平成52年度までに総延床面積の30%を削減する



問 公共施設の延床面積が21万㎡で類似団体の2倍であるが今後の計画は、

答 財政課長

総延床面積の30%削減とともに長寿命化、機能強化、省エネ化を進める。

問 個別施設ごとの設備や利用状況は整理しているか。

答 財政課長

統一的な調査票で今年度中に取りまとめる。

問 整備統合計画は町民の痛みを伴うが、町民への説明は。

答 財政課長

住民、関係団体などの理解を得ながら推進していく。説明方法などは、「北広島町FM連絡会議」で検討する。

問 公共施設の保全管理を一元的に管理する考えは、

答 財政課長

保全情報システムの導入を検討している。

問 千代田中央公民館建

替えのスケジュール、規模、予算は。

答 企画課長

今年度はプロポーザルを実施し平成30年度に基本・実施設計、平成31年度から工事着工したい。規模や予算は検討中。場所は、町民グラウンドあたりを考えている。

問 多面的機能をもった施設にできないか。

答 生涯学習課長

新たな機能を持った人づくり、まちづくりの拠点であり生涯学習機能を併せ持つ施設としたい。

問 建物の一部を民間事業者に貸しその利益で保守管理費を賄う考えは。

答 生涯学習課長

現在のところ考えていない。

問 豊平中央公民館の今後の計画は。

答 生涯学習課長

利用状況を見ながら今後検討する。

山形しのぶ議員

第2子の保育料を第1子卒園後も半額のままに

国の動向を見ながら慎重に検討していく



問 子育て世代を迎える環境作りとして、第2子の保育料を半額のままにできないか。

答 福祉課長

国が定める保育料の基準価格を元に市町村ごとに保育料を決めている。現在は低所得者や一人親世帯には負担軽減がある。国が幼児教育無償化への動きがあるため、国の動向を見ながら慎重に検討していく。

問 第3子を無料にしてから出生率は上がっているか。

答 福祉課長

合併時から無料だが、平成19年以降出生率は減少傾向である。

問 子育て世代も多く住む町を目指す町長の具体案を伺う。

答 町長

子どもの健やかな成長を支える環境作りのため、

子育て世代包括支援センター設置など、幼児教育の充実を図る。
北広島町立新庄小学校プールの修繕を

問 老朽化が進んでいる新庄小学校のプールの修繕に取り組み考えはあるか。

答 学校教育課長

老朽化が進んでおり、修繕すべき点についても把握はしている。しかし、将来的には各地区センタープールの活用を計画しており、修繕の予定はない。

問 修繕以外の対策としての具体案は。

答 学校教育課長

大朝の海洋センターの利用を考えている。

問 その際、プールバスの運行はあるか。

答 学校教育課長

プールバスの運行については、学校と協議して決める。

梅尾泰文議員

年金を受け取る人が増えます

本町で51人増えた



問 今年8月から国民年金の受給要件が変わり、掛けた期間が25年必要だったが10年となった。本町で何人受給者が増えたか。

答 町民課長

全国では64万人、北広島町では51人増えた。

問 受給額はいくらか。

答 町民課長

全国で650億円、北広島町では年額1270万円である。

問 北広島町で年、平均25万円が受け取ることになり改善された。この背景はなにか。

答 町民課長

所轄でないのかわからない。

問 51人のうち生活保護世帯はあるか。

答 福祉課長

該当者は8人あるが、年金収入によって生活保護費は削減される。

問 掛けた年金が正當に受け取れる年金になるが手続きはどこでするのか。

答 町民課長

「年金ダイヤル」で予約の上、年金事務所で行う。

問 掛け年数10年未満の人はいるか。今後受け取れる方法はあるか。

答 町民課長

人数は把握できていないが、10年未満の人は70歳まで任意加入することができ、資格要件を超えれば受給することができ、また来年の9月まで、過去5年間の納め忘れを取り戻す制度もある。

問 以前、「消えた年金記録」が問題になったが、当町で該当者はあったか。

答 町民課長

全国では2000万件ぐらいに減ったというが、各自自治体ごとには聞いていない。



室坂光治議員

北広島町産業フェア2017開催について問う

出展企業の確保と若者定住対策について

問 今年4回目の北広島町産業フェアが開催予定されている。産業フェアでの事業所から出展される方が年々減少している。この産業フェアで北広島町への若者定住雇用等のきつかけを掴むチャンスになると思う。北広島町内で高校を卒業された方の今年度の就職は13名程度に止まる。

答 地元で育った子ども達もまた地元へ戻って来てくれるような町づくりをしていくために、町はどのような考えをおもちか。

答 商工観光課長

これまでの出展企業の数については1回目から3回目については事業者数が減少している。しかしながら来月開催を予定している産業フェアは36事業者の方に参加いただく予定である。

参加事業者確保に向け

た対策については、参加された方々のアンケートの結果を次回の開催へ反映させ、出展しやすい環境整備を進めている状況である。

答 企画課長

高校を卒業された方の就職についてはこの産業フェアだけでなく、企業見学の実施、職場体験等を行っていただくという場を設けている。

答 町長

町としては若者定住対策をこれまで最重点課題として取り組んでいる。

若者が多く住んでいる町になって行くためにも、Iターンはもちろん、地元で育った子ども達が地元へ戻ってきてくれる町づくりをするために地域や家庭と一緒に取組みをしていきたい。

服部泰征議員

過疎地こそ必要な情報通信技術、将来を見据えた計画を

高度化も見据え、具体的な更新計画を策定する



問 情報通信技術の必要性は今後高まる。現時点での「きたひろネット」の加入者数と加入率は。

答 総務課長

平成29年8月末現在の加入者数は5737件で66・9%。

問 未だ加入率が6割台の原因は何か。

答 総務課長

早期加入特典で引込線設置をした中で、未利用がまだ400世帯あるため。

問 安定運営には収支が大事。昨年度の実績は。

答 総務課長

平成28年度の歳入は6億600万余り、一般会計から3億100万円余りを繰入れた。借金返済の公債費は2億6800万円であり、運営的な経費は3260万円の赤字。

問 来年度開始のデータ放送、この状況下で運営可能か。

答 総務課長

音声告知放送とは異なるメリットがある。防災行政無線を廃止予定であ

り、新たな情報入手元として期待出来る。2376万円の導入費、400万円の維持費が必要。一般会計からの繰入れで運営は可能。

問 上り速度が遅い現在の回線、対策は。

答 総務課長

ICTの利活用には光回線への更新が有効だが、多額の費用が必要。赤字運営であり、慎重に検討する。

問 第五世代(5G)と呼ばれる次世代移動通信システム等への対応は。

答 総務課長

移動通信技術のため地上波と考え方は異なるが、国や民間事業者の動向に留意していきたい。

問 加入率増や設備更新など、今後の計画は。

答 総務課長

引込工事費の引き下げや減免、キャンペーン等を実施中。更新には多額の費用を要するため、高度化も見据えながら、具体的な更新計画を策定する。

伊藤 淳議員

大朝地域の美術ギャラリー構想について

展示場所は図書館。収蔵庫や運営計画などは検討中



問 ギャラリーの設置箇所が図書館の場所になった経緯を聞く。

答 生涯学習課長

新町建設計画での美術館構想があった。大朝地域には本町ゆかりの作家が多い。

問 問題点として、収蔵庫・運送費用・駐車場があるが、どうか。

答 生涯学習課長

収蔵庫の場所は、図書館への併設は難しく検討中である。運送にかかる問題は把握している。駐車場が狭いことも今後検討する。

問 美術品を扱うことは赤字になる。経済波及効果は考えているか。責任を持って運営していくように考えているか。

答 生涯学習課長

町内の鬘光自画像展などを考えている。将来、美術で北広島町に帰って

きたい子どもたちを育てるためにも整備していく町ではなく、外部団体への委託も考えている。

町外に向けてのPR活動について

問 町外者が北広島町を知る機会に、聖湖マラソンや芸北分校の国立劇場での神楽の公演などがある。北広島町を知りきっかけとなる配布物はあるか。

きたひろ応援ファンドでは神楽のファンドがある。国立劇場の公演はその絶好の機会ではないか。

答 商工観光課長

各課からの問い合わせがあったら、その都度用意している。
聖湖マラソンでは、舞太郎のエントリーチラシのみ配布した。

真倉和之議員

高校を変える まちが変わる 公営塾の開設を聞く

公営塾を前向きに取り組む



問 少子化が進むなかで

各都道府県はそれぞれの実情に応じた、高校の存続と学力向上の取り組みをされている。これは生徒たちの「秘めた力」を引き出し、学力をつけ大学受験の合格目標に取組まれているが、私はこの町の新たな試みとして、県立千代田高校に公営塾を開設し地域特性を生かした独自色を発揮し、国立大学に合格できる生徒を育てる必要がある。塾が変わる学びと、育ちの公営塾の開設を聞く。

答 教育長

若者定住を考える時にUターン対策が必要である。千代田高校への地元中学校からの進学率が平成27年度は40・7%、平成28年度は51・7%と約半分以上が千代田高校以外へ行っている実態である。

今後少子化が進み同様の進学率が続くと高校の存続が難しくなる可能性がある。現在2クラスを維持している時に将来に向けた有効な施策を講じることが必要である。

この施策として公営塾を千代田高校に設置し、同校生徒の学力向上に向けた支援を行うことでプラスアルファの付加価値を創造し、大学進学者を増やし就職や専門学校等への希望者のバックアップを行い、地元中学校からの進学率を高めることで、高校規模の安定的な確保を図り地域の次世代の人材育成を図ってきたい。





美濃孝二議員

就学援助の入学準備金は入学前に支給を

本年度からの実施を検討している

- 問** 経済的理由で就学困難な児童生徒の保護者に学用品費や修学旅行費、給食費等を支援する就学援助があるが、入学準備金を入学前に支給する自治体が増えている。北広島町でも実施しては。
- 答** 学校教育課長
本年度からの実施に向けて検討している。
- 問** 文科省は私立学校にも就学援助を実施するよう求めているが。
- 答** 学校教育課長
近隣市町等の状況を含め研究していきたい。
- 問** 北広島町は今年、援助対象を生活保護基準の1.1倍から1.2倍まで広げたいが、さらに引き上げているのか。
- 答** 学校教育課長
平成30年度から1.3倍までの引き上げを検討している。
- 問** 県単位化による国保税の引き上げ抑える繰入れを
- 問** 県の第3回試算の結果はどうか。
- 答** 町民課長
算定基礎データの誤りがあり9月中になる。
- 問** 医療機関が少なく県内で低い方の北広島町の国保税は、「統一保険料」で大幅に上がる。繰入れしても引き上げを抑えるべきではないか。
- 答** 町長
「統一保険料」は間違っていない。
- 問** 町民課長
繰入れは考えていない。
- 問** 県の水道事業広域連携で「導水管」はどうなる
- 問** 県は「水道事業の統合を目指す」との報道だが、導水管や今後の水道事業はどうなるのか。
- 答** 上下水道課長
広域連携で導水管だけでなく浄水場整備も国補助の対象になる。町単独より事業負担を抑えることができ、水道料金の値上げ幅を抑えることができ、現在協議中である。

浜田芳晴議員

次世代を考えるパート 19

全国的な傾向を見ながら判断する



- 問** 次世代に向けて農地は法人化、認定農家に集積、大面積になり、鳥獣被害と草刈りが問題。現状と将来について、大捕物の研究をしてはどうか。
- 答** 農林課長
町全体では頭打ちの傾向だが、依然として被害も多く、捕獲数も多い。捕獲と柵等の設置支援を引き続き行っていく。
- 問** 草刈りは二種兼業農家が農地を守った時代は良かったが、大面積に集積するにしたがい、農地について町道、農道の草刈りが大変。最近では高速自動車道でも除草剤を使用されている。本町も研究されては。
- 答** 建設課長
除草剤の使用は経費的にも草刈りに比べ安価になる場合もあるが、安全性及び、周囲への影響も含め、全国的な傾向を見ながら判断させて頂く。
- 問** 国の法案も多い状況の中でも、収入保険制度、これはどんな制度なのか。
- 答** 農林課長
青色申告をしている方が加入できる農業収入の減収を補てんする保険で、平成30年10月から加入申請が始まる。
- 問** 労働者派遣法、外国労働者も研修目的と労働目的をはっきりさせる制度、将来利用できる研究も必要では。
- 答** 農林課長
国家戦略特区でのみ外国人労働者の就労が認められる法改正があった。この特区での実績等を注視していく。



宮本裕之議員

集落営農の課題と展望を問う

農地中間管理機構を活用し作業効率の向上を図る



問 農業就業人口が20

0万人を割り、米価の下落と米の消費が減少する中、平成30年度から米の直接支払制度も終了する。稲作を中心としてきている本町の営農組合や集落法人、米づくり農家の今後の課題と展望は。

答 農林課長

農業就業人口減少による耕作放棄地の拡大と担い手対策は大きな課題である。

国は土地改良法の改正を行い、小規模の農地を地権者の負担なく拡大できるようにしている。本町において現在のところ第2次圃場整備の考えはないが、具体の事案が出れば適切に対応する。

当面は、水田面積拡大による作業効率の向上、また農地中間管理機構を活用した農地の集積及び分散圃場の解消により、

作業効率化を図っていきたい。

毒ヘビやヒアリ等有毒生物の周知と対応を問う

問 今年7月、兵庫県の

小学5年生の男子が毒ヘビのヤマカガシに噛まれた一時、意識不明の重体になったと報道された。他にもヒアリやハチなど有毒生物は多く存在する。小・中学校での指導対応は。

答 学校教育課長

遠足や課外活動において有毒生物への周知、対応は指導している。校内にヒアリや毒蛇等の写真を掲示し、注意を促している。

答 町民課長

ヒアリについてはきたひろネット及び広報、ホームページで町民に注意を呼びかけている。

平成28年度決算審査を終えて

監査委員 森 脇 誠 悟

議会選出監査委員として山根代表監査委員と共に7月28日～8月4日の8日間にわたり平成28年度決算について審査し、8月30日に箕野町長に対して決算審査意見書を提出しました。

決算審査は、計数的精査はもちろんですが、予算執行が効率的で、しかも事業効果が発揮されたか、また今後の事業運営にどう生かしていくかということが主要であり、それに沿って審査しました。債権管理（税の徴収等）については、各担当課の努力が見られ、成果も上がりつつあるが、債権回収窓口の一本化などにより、より専門化した体制も考えていく時期にある。

限られた予算で最大の効果を出すために、経営手順と言われるマネジメントサイクル（計画↓実行↓評価↓改善）をもっと活用すること。特に、事業を次につなげるために、評価・点検が重要である。

・遊休の町有資産は、地元への譲渡等含め有効活用にも努める必要がある。

・事業効果をより上げるためには、地域公共交通施策や観光キャンペーン等は、関係する課との横断的な連携が必要である。

・情報漏えい等の不祥事が起きないように、公務員倫理、法の遵守にしっかりと取り組むこと。

以上が意見書の概略です。

今後、議会が提案した重要施策については、議会として事業の進捗状況等の追跡調査をする必要があるのではないかと思います。

議会に関する豆知識

外国人参政権について

参政権には「選挙権」と「被選挙権」の2つがあり、「選挙権」は議員選挙で投票する権利、「被選挙権」は議員に就くことができる権利です。

現在、日本に住む外国籍の方に参政権は認められていません。ただし、選挙権はなくても「選挙運動」は可能です。

	一般有権者	在日外国人
選挙権	○	×
選挙運動	○	○
政治活動	○	○

※選挙運動 ↓ 選挙期間中の政治活動

告示（公示）から投票日前日までの期間に行う、特定の候補者を当選させるために有権者に働きかける運動のこと

※政治活動 ↓ 選挙期間外の政治活動

選挙運動と政治活動を区別しており、選挙期間外の政治的意図を持った活動のこと

訂正とお詫び

議会だより（49号 2017/8/1）で以下の誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

- ・ P4 下から2行目 誤：梅尾康文 ↓ 正：梅尾泰文
 - ・ P6 上段 氏名のモレ 北広島町議会議長 伊藤久幸
 - ・ P8 上段表中 質問議員名 誤：湊 泰文 ↓ 正：湊 俊文
 - ・ P14 下から2段目 11行目 ↓ 12行目
- 誤：耕作放棄地は1885・3ha ↓ 正：耕作放棄地は188・53ha

表紙の写真



8月25日に豊平どんぐりスタジアムにて、第11回山県防犯少年野球・ソフトボール大会が行われました。雨が降る中での開催でしたが、子ども達の熱心な取り組みと、応援の皆さんの声援に包まれて盛大に行われました。表紙の写真は野球の部で優勝した千代田ファイターズ（上段）、準優勝の大朝ベアーズジュニア野球クラブ（下段）です。表彰式でメダルをかけていただき、頑張った選手達笑顔が広がりました。

あしがき

議員に届けられた一通の手紙には、自動車運転免許証を返納された経緯や思いが綴られています。運転免許証を手放された時には、ご家族との思い出が頭に浮かび寂しさも感じられたことでしょうか。

また、寂しさと共に日々の生活の不便さも大きく感じていらつしやる様子も伺えました。お手紙の最後には次の言葉がありました。「世の中の変わり様 もう私達の世の中ではないと諦めています。」

北広島町の交通網が充実していれば、このような気持ちを持たれないかもしれません。誰もが住みたいと思う北広島町であるために、私達にもできることを見つけ取り組んでいくべきだと強く思いました。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

【発行責任者】
議長 伊藤 久幸
【議会広報特別委員会】
委員長 亀岡 純一

副委員長 伊藤 淳
委員 伊藤 弘美
委員 敷本 光治
委員 室坂 泰征
委員 服部 俊文
委員 山形しのぶ
委員 湊 俊文